

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は1年とし本会の事務を分担する。

前 号 目 次

荒木名誉教授の退任を惜しむ	加 藤	寛
陸教授の退任を惜しむ	加 藤	寛
荒木金男先生の人と学問	中 山	健
陸正さんのこと		
— 徹な調査職人が 今日も まちを行く —	井 関	利 明

荒木金男先生略歴および業績
陸正先生略歴および業績

論 説

商業政策における振興・調整政策の展開		
— 小振法と大店法の運用にみる調整の時代における商業政策の評価（その①） —	番 場	博 之 (1)
公正な社会の責任 (obligation) と義務 (duty)	藤 川	吉 美 (23)
— NOBLESSE OBLIGEの根拠をめぐって —		
起業活動の現状と大学生の起業意識	中 山	健 (41)
— アンケート調査結果の分析を中心として —		
環境再生事業の市場の創成に向けての提言	吉 田	寛 (65)
— あらたな環境測定の方法kikyoを利用して —	工 藤	剛 治 (91)
商店街活性化と逸品プロジェクト		
非営利組織と規模の戦略	加 藤	久 明 (119)
— 公共図書館の経営プロセス解体 —		

研究ノート

「市民電子会議室」による直接民主制の可能性と政党機能		
— マーケティング・パラダイムの視点から —	木 村	公 勅 (139)

資 料

「ゴールドスミス・クレス文庫」所収のマルクス『資本論』引用・参照文献について		天 野 光 則 (157)
--	--	---------------

抄録		(179)
----	--	-------

そ の 他

平成17年学外研究活動報告		(185)
千葉商大論叢第43巻総目次		(191)